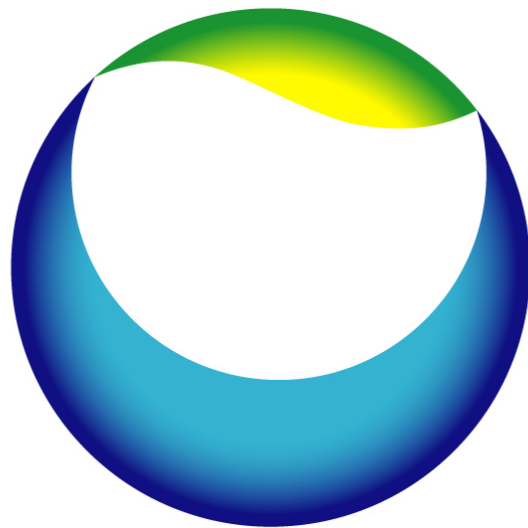


証券コード
4568

決算短信及び補足資料
(2010年3月期 第2四半期決算)



Daiichi-Sankyo

2009年10月30日

第一三共株式会社

<http://www.daiichisankyo.co.jp>



DAIICHI SANKYO CO., LTD.

2010年3月期 第2四半期
補足資料目次

【2】補足資料

1. 損益計算書推移	P1~2
2. 為替レート	P3
3. グローバル製品売上高	P3
4. 海外売上高	P4
5. セグメント別情報（事業別）	P5
6. セグメント別情報（所在地別）	P5
7. 主要会社の状況	P6~9
8. 要員数の推移	P10
9. 主要経営財務指標	P11
10. 設備投資および減価償却費	P11
11. 単元株式の所有者別状況	P11
12. 連結貸借対照表	P12~13
13. 連結損益計算書	P14
14. 連結キャッシュ・フロー計算書	P15
15. 主要開発パイプラインの状況	P16~20

ご参考：ヒストリカルデータ

2009.10.30



第一三共株式会社

コーポレートコミュニケーション部

1.損益計算書推移

〈第一三共グループ全社損益〉

(単位：億円)

	2009年度実績						増減内容 (対前年同期)
	第2四半期		上半期		対公表 (7月発表)	前同 増減	
売上高	20.2 100.0 2,434		15.8 100.0 4,706		56	642	・ランバクシー社の連結化 +661億円 ・前年度エイソール共同販促終了に伴う一時金収入を計上 -47億円 ・円高に伴う為替影響額 -205億円 ・オルメサルタンの増加+108億円、レボフロキサシンの減少 -60億円 【円高に伴う為替影響額含む】
売上原価	30.7	747	29.2	1,372	22	396	・原価率 +5.2P ランバクシー社の連結化 +4.5P、為替の影響 ±0.8P
販管費	59.4	1,446	60.0	2,825	-65	354	
再掲) 研究開発費	20.1	490	20.0	941	11	118	・ランバクシー社の連結化 +44億円 ・エドキサパン (DU-176b)、CS-8958等の開発プロジェクト費用増加
再掲) 研究開発費以外の販管費	39.3	956	40.0	1,884	-76	236	・ランバクシー社の連結化 +266億円
営業利益	11.5 99 241		17.5 10.8 509		99	-108	
営業外収益		109		148	108	87	・ランバクシー社の為替デリバティブ評価益等
営業外費用		-101		134	54	53	・ランバクシー社の為替デリバティブ決済期限到来による損失の確定等
経常利益	140.0 18.5 451		12.4 11.1 523		153	-74	
特別利益		2		24	24	15	・投資有価証券売却益 +18億円
特別損失		3		10	10	-29	
税引前利益	18.5	450	11.4	537	167	-29	
当期純利益	182.7 10.3 251		45.0 4.0 187		77	-153	・法人税等 367億円 (税率40.0%→68.5%) 【税率アップ要因】 過年度税金計算の修正 75億円 試験研究費税額控除の不適用 ・少数株主利益 -18億円

〈ランバクシー社の業績〉

(単位：億円)

	2009年度実績				2009年度予想	
	第2四半期		上半期		年度	前同 増減
売上高	->		->		1,350	
売上原価	56.0	204	56.8	375		
販管費	45.6	166	46.9	310		
再掲) 研究開発費	6.3	23	6.7	44		
再掲) 研究開発費以外の販管費	39.3	143	40.2	266		
営業利益	-1.6	-6	-3.6	-24		
営業外収益		90		99		
営業外費用		-119		108		
経常利益	55.5	202	-5.0	-33		
特別利益		0		0		
特別損失		0		0		
税引前利益	55.6	202	-4.9	-33		
当期純利益	39.1	142	-4.1	-27	-190	

(単位：億円)

	2009年度予想							差異（対公表）
	下半年		対公表 (7月発表)	年度		前同 増減	対公表 (7月発表)	
売上高	<12.3> 100.0 4,894		-56	<14.0> 100.0 9,600		1,179	0	
売上原価	29.8	1,458	28	29.5	2,830	686	50	海外子会社の会計処理を一部変更
販管費	61.0	2,985	15	60.5	5,810	421	-50	
再掲) 研究開発費	20.4	999	-11	20.2	1,940	95	0	
再掲) 研究開発費以外の 販管費	40.6	1,986	26	40.3	3,870	327	-50	海外子会社の会計処理を一部変更
営業利益	<65.6> 92 451		-99	<8.0> 10.0 960		71	0	
営業外収益		-88	-108		60	-63	0	
営業外費用		196	-54		330	-130	0	
経常利益	<-> 3.4 167		-153	<25.1> 7.2 690		138	0	
特別利益		0	14		24	-14	24	
特別損失		14	-14		24	-3,649	24	
税引前利益	3.1	153	-167	7.2	690	3,773	0	
当期純利益	<-> 4.4 213		-77	<-> 4.2 400		2,555	0	

<ランバクシー社関連償却費および連結調整の影響>

(単位：億円)

	2009年度実績		
	第2四 半期	上半期	前同 増減
売上高			
売上原価			
販管費	15	30	30
再掲) 研究開発費			
再掲) 研究開発費以外の 販管費	15	30	30
営業利益	-15	-30	-30
営業外収益			
営業外費用			
経常利益	-15	-30	-30
特別利益			
特別損失			
税引前利益	-15	-30	-30
当期純利益	-23	-18	-18

<ランバクシー社関連影響除外後>

(単位：億円)

	2009年度実績		
	第2四半期	上半期	前同 増減
売上高	<2> 100.0 2,070		-19
売上原価	26.2	543	21
販管費	61.1	1,265	14
再掲) 研究開発費	22.6	467	74
再掲) 研究開発費以外の 販管費	38.5	798	-60
営業利益	<21.3> 12.7 262		-54
営業外収益		20	-12
営業外費用		18	-55
経常利益	<40.5> 12.8 264		-11
特別利益		2	15
特別損失		3	-29
税引前利益	12.7	263	33
当期純利益	<48.0> 6.4 132		-108

2.為替レート

	2008年度	2009年度			2009年度 当初予想
	上半期実績	上半期実績	年度予想*	1円の為替変動による 年間業績へのインパクト	年度
USD/円 (期中平均)	106.1	95.5	92.8	売上高 営業利益 約23億円 約3億円	95.0
EUR/円 (期中平均)	162.7	133.2	131.6	売上高 営業利益 約6億円 軽微	120.0
INR/円 (期中平均)	-	1.95	1.90	売上高**	約70億円 1.90

* 下半期1ドル=90円、1ユーロ=130円で推移することを想定

** インドルピーは0.1円の為替変動による年間業績へのインパクト

3. グローバル製品売上高

(単位：億円)

	2009年度実績				2009年度予想			
	第2四半期	上半期	対公表 (7月)	前同 増減	下半期	対公表 (7月)	年度	対公表 (7月)
オルメサルタン 【高血圧症治療剤】	<10.2>	<10.3>			<16.9>	<13.7>		
	594	1,154	32	108	1,246	13	2,400	45
オルメテック (日本)	<26.1>	<24.1>			<30.5>	<27.4>		
	198	388	-2	75	432	2	820	0
ベニカーHCT / ベニカー (米国)	<0.5>	<-2.6>			<-0.5>	<-1.6>		
	222	443	18	-12	417	-18	860	0
エイゾール (米国)	<30.9>	<63.7>			<39.1>	<49.8>		
	32	62	-3	24	68	-17	130	-20
オルメテックプラス / オルメテック (欧州)	<-3.7>	<-2.2>			<20.7>	<9.3>		
	100	182	12	-4	228	33	410	45
セビカー (欧州)	<->	<->			<55.0>	<151.3>		
	12	21	-1	21	34	11	55	10
その他子会社/輸出等	<-7.8>	<6.4>			<20.0>	<13.4>		
	31	57	7	3	68	3	125	10
レボフロキサシン 【合成抗菌剤】	<-0.3>	<-12.3>			<-6.5>	<-9.4>		
	235	433	6	-60	452	-41	885	-35
クラビット (日本)	<26.7>	<9.3>			<-3.6>	<2.3>		
	119	214	4	18	226	-4	440	0
輸出等	<-22.7>	<-37.2>			<-14.7>	<-27.6>		
	64	112	2	-66	113	-32	225	-30
特許料	<-19.3>	<-14.6>			<-5.0>	<-9.8>		
	32	69	-1	-12	76	-4	145	-5
その他子会社	<2.9>	<-1.7>			<1.4>	<-0.2>		
	20	38	1	-1	37	-1	75	0
プラバスタチン 【高コレステロール血症治療剤】	<-5.2>	<-6.9>			<-9.1>	<-7.9>		
	150	297	7	-22	263	3	560	10
メバロチン (日本)	<-5.0>	<-6.7>			<-8.1>	<-7.3>		
	124	249	-1	-18	221	1	470	0
輸出等	<23.3>	<-11.8>			<-34.1>	<-21.3>		
	10	16	6	-2	9	-1	25	5
欧州子会社	<-34.0>	<-17.3>			<-31.4>	<-24.4>		
	8	16	1	-3	14	4	30	5
その他子会社	<8.4>	<8.1>			<28.2>	<17.9>		
	8	16	1	1	19	-1	35	0
プラスグレル (共同販促収入) 【抗血小板剤】	<->	<->						
	10	10	-	10				
エフィエント (米国)	<->	<->						
	10	10	-	10				
エフィエント (欧州)	<->	<->						
	0	0	-	0				

プラスグレルの共同販促収入は実績値のみ開示しております。

プラスグレルの共同販促収入は米国分をDSIIに、欧州分を第一三共単体にそれぞれ計上しております。

4. 海外売上高

第一三共グループ全社海外売上高

(単位：億円)

	2009年度実績			2009年度予想		
	第2四半期	上半期	前同増減	下半期	年度	対公表(7月)
海外売上高	<42.6> 1,227	<33.1> 2,326	578	<19.1> 2,364	<25.7> 4,690	35
対売上高比率	50.4%	49.4%		48.3%	48.9%	
北米	<16.6> 625	<8.5> 1,214	95			
欧州	<27.6> 297	<24.5> 569	112			
その他	<232.9> 305	<216.4> 542	371			

ランバクシー社の海外売上高

(単位：億円)

	2009年度実績			2009年度予想		
	第2四半期	上半期	前同増減	下半期	年度	対公表(7月)
海外売上高	<-> 364	<-> 660	660	<-> 690	<-> 1,350	0
北米	<-> 75	<-> 154	154			
欧州	<-> 73	<-> 130	130			
その他	<-> 216	<-> 376	376			

ランバクシー社を除いた海外売上高

(単位：億円)

	2009年度実績			2009年度予想		
	第2四半期	上半期	前同増減	下半期	年度	対公表(7月)
海外売上高	<0.4> 864	<-4.7> 1,666	-81	<4.7> 1,674	<-0.2> 3,340	35
対売上高比率	41.7%	41.2%		39.8%	40.5%	
北米	<2.7> 551	<-5.2> 1,060	-59	<4.0> 1,030	<-0.9> 2,090	-30
欧州	<-3.9> 224	<-3.9> 439	-18	<4.0> 461	<0.0> 900	60
その他	<-2.5> 89	<-2.9> 166	-5	<10.6> 184	<3.7> 350	5

5.セグメント別情報（事業別）

（単位：億円）

	2009年度実績					
	第1四半期		第2四半期		上半期	前同増減
連結売上高	<11.5> 2,271		<20.2> 2,434		<15.8> 4,706	642
医薬品事業	<11.5> 2,263		<20.3> 2,425		<15.9> 4,688	643
国内医療用医薬品	<3.1> 1,066		<5.0> 1,067		<4.0> 2,132	83
海外医療用医薬品	<23.9> 1,099		<42.5> 1,222		<33.0> 2,321	577
ヘルスケア	<-6.9> 95		<-2.1> 135		<-4.1> 230	-10
その他事業	<-2.6> 8		<-3.5> 10		<-3.1> 18	-1
連結営業利益	<-33.1> 268		<11.5> 241		<-17.5> 509	-108
医薬品事業	<-33.5> 262		<11.9> 234		<-17.8> 496	-107
その他事業	<-1.3> 5		<-0.6> 7		<-0.9> 12	0

6.セグメント別情報（所在地別）

（単位：億円）

	2009年度実績					
	第1四半期		第2四半期		上半期	前同増減
連結売上高	<11.5> 100.0 2,271		<20.2> 100.0 2,434		<15.8> 100.0 4,706	642
日本	<-3.1> 56.6 1,285		<1.8> 55.6 1,354		<-0.7> 56.1 2,639	-18
北米	<7.0> 23.9 542		<20.4> 22.4 545		<13.3> 23.1 1,087	128
欧州	<48.1> 9.9 225		<32.4> 10.1 245		<39.5> 10.0 469	133
インド	<-> 5.1 115		<-> 6.8 165		<-> 5.9 280	280
その他	<99.7> 4.6 105		<115.3> 5.2 126		<108.0> 4.9 230	120
連結営業利益	<-33.1> 268		<11.5> 241		<-17.5> 509	-108
日本	156		119		274	
北米	139		130		270	
欧州	12		19		31	
インド	-32		-17		-49	
その他	9		5		14	

7. 主要会社の状況

7-1. 第一三共単体

(単位：億円)

	2009年度実績				2009年度予想			
	上半期	対公表 (7月)	前同 増減	(08→09増減)	下半期	対公表 (7月)	年度	対公表 (7月)
国内医療用医薬品合計	<4.5> 2,094	4	90		<6.9> 2,206	-4	<5.7> 4,300	0
循環器関連疾患領域	<6.0> 1,242	-18	70	特許期間満了後、漸減傾向となっているメパロチンを除き、注力品は大幅拡大。	<12.6> 1,298	18	<9.2> 2,540	0
オルメテック 【高血圧症治療剤】	<24.1> 388	-2	75	競争の激しい市場において、降圧効果の強さが評価され、引き続き市場を大きく上回り拡大した結果、同一薬効内シェア3位に躍進。	<30.5> 432	2	<27.4> 820	0
カルブロック 【高血圧症治療剤】	<16.7> 70	0	10	降圧効果の持続性のプロモーションに加え、腎保護作用が評価されたことにより処方が増加。	<30.2> 80	0	<23.6> 150	0
アーチスト 【高血圧症治療剤】	<8.7> 119	-1	10	慢性心不全に唯一適応のあるβ遮断薬として心臓疾患を中心に処方が増大し、同一薬効内トップシェアを堅持。	<10.4> 121	1	<9.5> 240	0
メパロチン 【高コレステロール血症治療剤】	<-6.7> 249	-1	-18	スタンダードスタチンとしての有用性訴求を実施中。一方、後発品処方の拡大や競合ストロングスタチンの攻勢により減収。	<-8.1> 221	1	<-7.3> 470	0
クレメジン 【慢性腎不全剤】	<7.2> 69	-1	5	CKD診療ガイドにおいて経口吸着薬の位置付けが明確化し、早期投与の有用性も示されたことで新規患者数が増加。	<12.4> 71	1	<9.8> 140	0
ハンブ 【急性心不全剤】	<5.8> 45	5	2	DPC拡大が逆風となる中、急性心不全治療の第一選択薬として市場における優位性を堅持し微増。	<1.8> 50	0	<3.6> 95	5
リパロ 【高コレステロール血症治療剤】	<24.3> 37	-3	7	ストロングスタチン市場の拡大と日本人を対象としたエビデンスの発表により、採用院数ならびに処方数が増大。	<53.5> 48	3	<39.4> 85	0
サンリズム 【不整脈治療剤】	<1.0> 60	0	1	心房細動治療の第一選択薬としての地位確保により微増。	<5.2> 60	0	<3.0> 120	0
ファスティック 【血糖降下剤】	<4.5> 27	-3	1	チアソリジン系薬剤との併用の効能効果の追加により微増。	<30.5> 33	3	<17.2> 60	0
感染症/骨・関節/ 免疫・アレルギー/泌尿器	<13.0> 709	-1	81	クラビット高用量発売、ロキシニン・ユリーフを中心に伸長。	<12.6> 841	1	<12.8> 1,550	0
クラビット 【合成抗菌剤】	<9.3> 214	4	18	7月の高用量発売を契機としたPK/PD理論に基づく耐性菌抑制効果徹底訴求により増収。	<-3.6> 226	-4	<2.3> 440	0
ロキシニン 【消炎鎮痛解熱剤】	<25.6> 237	-3	48	競合激化により経口剤が伸び悩む中、パップ剤に加え、昨年発売したテープ剤が高いブランド力と優れた製品性により増収に寄与。	<45.3> 288	18	<35.7> 525	15
モービック 【消炎鎮痛剤】	<-13.5> 40	-5	-6	競合COX-2阻害剤の急速拡大の影響もあり減収。	<31.2> 50	0	<6.8> 90	-5
ユリーフ 【排尿障害改善剤】	<26.4> 45	0	9	高い有用性により院数と処方数が増大。シェアは確実に増加。	<26.5> 55	0	<26.4> 100	0
シルテック 【抗アレルギー剤】	<16.2> 42	2	6	4月に小児適応を取得したことなどにより増収。	<1.9> 58	-2	<7.4> 100	0
造影剤/癌/消化器	<2.3> 253	3	6	癌領域における市場好調の追い風もあり、増収。	<-1.5> 237	-3	<0.4> 490	0
オムニパーク 【造影剤】	<0.7> 147	2	1	DPC拡大によりブランド薬の事業環境がより厳しくなる中、医療ニーズに合致した規格展開などによりトップシェア確保。	<-3.0> 133	-2	<-1.1> 280	0
トボテシン注 【抗悪性腫瘍剤】	<5.1> 33	1	2	大腸癌治療ガイドラインの推奨レジメンとしての治療の標準化により、処方が拡大。	<3.6> 32	-1	<4.4> 65	0

7-2. 第一三共ヘルスケア

(単位：億円)

	2009年度実績				2009年度予想			
	上半期	対公表 (7月)	前同 増減	(08→09増減)	下半期	対公表 (7月)	年度	対公表 (7月)
ヘルスケア売上高合計	<-4.1> 230	-15	-10		<7.7> 250	-5	<1.7> 480	-20
ルル類	<13.5> 55	2	7	新製品「ルルアタックEX」の好調などにより売上増加。	<21.9> 60	3	<17.7> 115	5
ガスター10	<-38.3> 10	-4	-6	改正薬事法施行に伴う取扱店舗減少等により売上減少。	<-26.8> 12	-2	<-32.5> 22	-6
新三共胃腸薬類	<10.7> 18	1	2	「新三共胃腸薬プラス」が順調に推移し、売上増加。	<12.5> 19	0	<11.6> 37	1
パテックス類	<-1.3> 16	-5	0	「フェルピナク35」等の競合環境が厳しく微減。	<7.1> 12	-1	<2.2> 28	-7
トランシーノ	<-66.6> 4	-6	-8	改正薬事法施行に伴う取扱店舗減少等により売上減少。	<24.5> 4	-3	<-48.2> 8	-9

7-3. 第一三共 Inc. (米国)

(単位：億円)

	2009年度実績				2009年度予想			
	上半期	対公表 (7月)	前同 増減	(08→09増減)	下半期	対公表 (7月)	年度	対公表 (7月)
第一三共 Inc. (DSI)	<-3.4> 665	-5	-24		<11.7> 675	-55	<3.6> 1,340	-60
mil USD	<7.3> 696	-9	47		<17.5> 748	-20	<12.3> 1,445	-29
ベニカー/ベニカーHCT 【高血圧症治療剤】	<-2.6> 443	18	-12	アンジオテンシンⅡ受容体拮抗剤 (ARB) 市場が新規処方箋ベースでマイナス成長となる中、ベニカー/ベニカーHCTは優れた降圧効果を有する製品として2009年度も積極的なプロモーションを展開。新規処方箋も順調に拡大し、金額 (現地通貨) ベースでも増加した。	<-0.5> 417	-18	<-1.6> 860	0
mil USD	<8.2> 464	16	35		<5.2> 464	6	<6.7> 927	22
エイゾール 【高血圧症治療剤】	<63.7> 62	-3	24	特色のある製品としてのポジションを確立するべく、プロモーションを展開し、市場シェアを順調に拡大してきた。今後は市場拡大に向けた施策を更に強化する。	<39.1> 68	-17	<49.8> 130	-20
mil USD	<81.9> 65	-4	29		<48.6> 75	-14	<62.4> 140	-18
ウェルコール 【高コレステロール血症治療剤 /2型糖尿病治療剤】	<6.8> 134	-1	9	高コレステロール血症と2型糖尿病の両方に適応を持つ唯一の薬剤として、2008年度以来プロモーションを強化しており、伸長が加速。	<13.8> 136	-14	<10.2> 270	-15
mil USD	<18.7> 140	-2	22		<20.2> 151	-7	<19.5> 291	-9
エフィエント (共同販促収入) 【抗血小板剤】	<-> 10	-	10	2009年8月よりプロモーションを開始。専門MRがPCI処置室を有する病院を中心に、採用に向けた活動を実施している。今後も処方獲得のための活動を強化していく。	<-> 10	-		
mil USD	<-> 10	-	10		<-> 10	-		

エフィエントについては実績値のみ開示しております。

7-4. ルイトボルド ファーマシューティカルズ Inc. (米国)

(単位：億円)

	2009年度実績				2009年度予想			
	上半期	対公表 (7月)	前同 増減	(08→09増減)	下半期	対公表 (7月)	年度	対公表 (7月)
ルイトボルド (LPI)	<-0.7>				<-8.1>		<-4.2>	
mil USD	269	54	-2		221	1	490	55
	<10.3>				<-2.6>		<3.9>	
	281	55	26		247	16	528	70
ヴェノファー 【貧血治療剤】	<-4.3>				<-2.1>		<-3.3>	
mil USD	161	26	-7	世界最大の透析チェーン企業フレゼニウス社との米国透析市場における独占的サブライセンス契約により、同社でのシェアが拡大。7月に競合品の参入があったものの、LPIが注力している非透析市場においても販促活動を強化し、順調に売上を拡大した。	149	9	310	35
	<6.4>				<3.4>		<4.9>	
	169	27	10		165	18	334	45

7-5. 第一三共ヨーロッパ GmbH (欧州)

(単位：億円)

	2009年度実績				2009年度予想			
	上半期	対公表 (7月)	前同 増減	(08→09増減)	下半期	対公表 (7月)	年度	対公表 (7月)
第一三共ヨーロッパ GmbH (DSE)	<6.1>				<12.7>		<9.6>	
mil EUR	357	12	21		413	48	770	60
	<29.7>				<12.0>		<19.5>	
	268	-19	61		317	13	585	-6
オルメテック/ オルメテックプラス 【高血圧症治療剤】	<-2.2>				<20.7>		<9.3>	
mil EUR	182	12	-4	主要国においてMRを増員し、販促活動を強化。共同販売パートナーの売上も堅調に推移しており、現地通貨ベースでは単剤、配合剤ともに順調に売上が拡大した。	228	33	410	45
	<19.5>				<19.0>		<19.2>	
	137	-5	22		175	12	312	7
セビカー 【高血圧症治療剤】	<->				<55.0>		<151.3>	
mil EUR	21	-1	21	2009年1月ドイツで発売以降、フランス、スペイン等の欧州各国において発売。血圧コントロールが不十分とされる高血圧患者に対するニーズは高く、安全性と有効性に優れる本剤の販促活動を強化していく。	34	11	55	10
	<->				<70.3>		<174.1>	
	16	-3	16		26	7	42	4
メバロチン 【高コレステロール血症治療剤】	<-17.3>				<-31.4>		<-24.4>	
mil EUR	16	1	-3	欧州全域で特許満了	14	4	30	5
	<1.1>				<-32.1>		<-17.5>	
	12	0	0		11	2	23	2
エピスタ 【骨粗鬆症治療剤】	<-26.3>				<-4.0>		<-16.6>	
mil EUR	50	-2	-18	2008年2月にイーライリリー社より26カ国の販売権を追加獲得した結果、現在は欧州34カ国で展開。以降、各国での販売体制を順次自社販促活動に移行してきたが、売上は減少傾向。売上維持に向けた取り組みを更に強化していく。	50	-3	100	-5
	<-9.9>				<-8.1>		<-9.0>	
	37	-6	-4		39	-6	76	-12

【参考】 エフィエント (欧州) 共同販促収入

エフィエント 【抗血小板剤】	<->							
mil USD	0	-	0	2009年3月にイギリス、ドイツにて販促開始。その他主要国においても国毎に薬価交渉を行っており、発売に向けた準備が着々と進行。既発売国では今後も処方獲得に向けた活動を強化していく。	0	-	0	
	<->				0	-	0	

* 欧州のエフィエント共同販促収入は第一三共単体に計上されており、上記DSEの売上には含まれません。エフィエントについては実績値のみ開示しております。2009年度上半期は、前年度計上分の調整などによりエフィエント共同販促収入を計上していません。

7-6. アジア/中南米 (ASCA)

(単位：億円)

	2009年度実績				2009年度予想			
	上半期	対公表 (7月)	前同 増減	(08→09増減)	下半期	対公表 (7月)	年度	対公表 (7月)
ASCA合計	<4.0> 115	3	4	為替影響を除外すると +23.1%の伸長	<13.1> 135	6	<8.7> 250	10
第一三共製薬 (北京) (DSBJ)	<1.6> 20	0	0	現地通貨ベースでは +8.1%の伸長 クラビットの伸長に加え、DSSHとのコラボレー ションも加速。	<-7.9> 19	1	<-3.1> 39	1
第一三共製薬 (上海) (DSSH)	<43.6> 24	0	7	現地通貨ベースでは +52.7%の伸長 DSBJが販促するカルベニン、セフメタソンの大幅 伸長などが寄与。	<22.3> 27	2	<31.4> 51	2
韓国第一三共 (DSKR)	<-8.8> 16	2	-2	現地通貨ベースでは +22.8%の伸長 クラビットおよびオルメテックの共同販促収入の拡 大に加え、2009年6月にはセビカーを上市。	<45.4> 17	-1	<12.9> 34	1
第一三共タイ (DSTH)	<-0.6> 4	0	0	現地通貨ベースでは +14.8%の伸長 2009年3月にクラビット750mg注を上市するな ど、クラビットの売上が拡大。	<31.0> 5	1	<15.2> 9	1
台湾第一三共 (DSTW)	<-11.8> 17	0	-2	現地通貨ベースでは +5.0%の伸長 オルメサルタンおよびクラビットを中心に伸長。 2009年8月にはセビカーを上市。	<-1.2> 16	-1	<-6.9> 32	-1
第一三共ブラジル (DSBR)	<-18.6> 18	2	-4	現地通貨ベースでは +15.3%の伸長 配合剤 (オルメサルタン+アムロジピン) がベニ カー製品群の伸長を牽引。	<-16.5> 23	1	<-17.4> 41	2
第一三共ベネズエラ (DSVE)	<40.6> 16	-1	5	現地通貨ベースでは +54.1%の伸長 ベニカーの売上伸長が業績拡大に貢献。	<58.9> 27	2	<51.5> 42	2

7-7. ランバクシー・ラボラトリーズ Ltd.

(単位：億円)

	2009年度実績				2009年度予想*	
	上半期	対公表 (7月)	前同 増減	(08→09増減)	年度	対公表 (7月)
ランバクシー	<> 661	-	661		1,350	0
億インドルピー	<> 339	-	339		710	0

* ランバクシーの予想値については年度のみ開示しております。

7-8. ASCA各社およびランバクシーのグローバル製品売上高

(単位：億円)

	2009年度実績				2009年度予想			
	上半期	対公表 (7月)	前同 増減	(08→09増減)	下半期	対公表 (7月)	年度	対公表 (7月)
オルメサルタン 【高血圧症治療剤】	<32.4> 42	12	10	為替影響を除外すると +71.3%の伸長 各国での大幅拡大に加え、韓国のセビカーやインド のオルバンス発売も寄与。	<3.2> 43	-2	<15.9> 85	10
レボフロキサシン 【合成抗菌剤】	<-1.7> 38	1	-1	為替影響を除外すると +12.1%の伸長 各国での伸長に加え、ランバクシーの売上も寄与。	<1.4> 37	-1	<-0.2> 75	0
プラバスタチン 【高コレステロール血症治療剤】	<8.1> 16	1	1	為替影響を除外すると +26.8%の伸長 中国 (DSSH)、ベネズエラでの伸長に加え、ラン バクシーの売上も寄与。	<28.2> 19	-1	<17.9> 35	0

8. 要員数の推移

(単位：名)

	2008年度		2009年度	
	3月末		6月末	9月末*
連結要員数	28,895		29,156	29,272
(再掲)				
国内要員数	9,148		9,311	9,323
海外要員数	19,747		19,845	19,949

	2008年度		2009年度			
	3月末	営業担当者数 (MR)	6月末	営業担当者数 (MR)	9月末*	営業担当者数 (MR)
連結要員数	28,895		29,156		29,272	
(再掲)						
【日本】						
第一三共 (DS)	5,960	2,400	6,057	2,400	6,042	2,400
第一三共ヘルスケア (DSHC)	401	150	398	150	396	150
【米国】						
第一三共INC. (DSI)	2,875	1,800	2,881	1,810	2,933	1,800
ルイトボルド社 (LPI)	477	70	488	70	490	70
【欧州】						
第一三共ヨーロッパGmbH (DSE)	2,436	1,350	2,472	1,360	2,471	1,360
【アジア/中南米】						
第一三共製薬(北京) (DSBJ)	459	158	479	174	479	175
第一三共製薬(上海) (DSSH)	504	208	533	229	553	243
香港第一三共 (DSHK)	7	-	7	-	7	-
韓国第一三共 (DSKR)	98	49	98	49	97	49
第一三共タイ (DSTH)	44	18	42	16	45	18
台湾第一三共 (DSTW)	158	69	162	69	161	68
第一三共ブラジル (DSBR)	292	112	313	118	312	117
第一三共ベネズエラ (DSVE)	131	80	139	70	156	86

(単位：名)

	2008年度		2009年度	
	3月末		6月末	9月末*
ランバクシー社グループ	12,174		12,131	12,127

*会計期間の異なる海外子会社については6月末要員数

9.主要経営財務指標

	2008年度実績		2009年度実績	(億円)
	上半期	年度	上半期	2009年度 予想 年度
経営指標				
配当性向（連結）	83.9%	-	113.0%	105.6%
純資産配当率（DOE）	-	5.4%	-	-
1株当たり利益（EPS）	47.7円	-304.2円	26.6円	(56.8円)
1株当たり配当金	40.0円	80.0円	30.0円	60.0円
配当金総額	281億円	563億円	211億円	-
自己資本当期純利益率（ROE）	-	-20.5%	-	-
1株当たり純資産（BPS）	1,683.8円	1,226.0円	1,213.8円	-
自己資本比率	83.9%	57.7%	58.5%	-
自己株式取得（株式数）	15,021千株	15,044千株	-	-
自己株式取得	458億円	458億円	-	-
期末発行済株式総数*	704百万株	704百万株	704百万株	-
期末株価（終値）	2,695円	1,648円	1,853円	-
時価総額	18,973億円	11,602億円	13,044億円	-
財務指標				
総資産	14,123億円	14,946億円	14,603億円	
流動資産	8,575億円	7,835億円	7,715億円	
有利子負債	0億円	3,273億円	3,185億円	
自己資本	11,853億円	8,631億円	8,544億円	
営業CF	188億円	784億円	396億円	
投資CF	-1,980億円	-4,139億円	549億円	
財務CF	-710億円	981億円	-420億円	
フリーキャッシュフロー**	-1,793億円	-3,355億円	945億円	
現金および現金同等物期末残高	1,921億円	1,778億円	2,276億円	
手元流動性 (現金+有価証券+投資有価証券他)	3,851億円	3,642億円	3,412億円	
連結子会社数	43社	98社	96社	

*自己株式を除く

**営業CF+投資CFで算出しております

10.設備投資および減価償却費

	2008年度実績		2009年度実績	(億円)
	上半期	年度	上半期	2009年度 予想 年度
減価償却費	193	406	220	480
設備投資（工事ベース）	77	196	140	320

11.単元株式の所有者別状況

	2008年9月末			2009年3月末			2009年9月末		
	株主数 (名)	所有株式数 (百万株)	構成比	株主数 (名)	所有株式数 (百万株)	構成比	株主数 (名)	所有株式数 (百万株)	構成比
政府及び地方公共団体	2	0	0.0%	2	0	0.0%	2	0	0.0%
金融機関	189	340	48.0%	185	347	49.0%	188	326	46.1%
金融商品取引業者	46	12	1.8%	72	10	1.5%	86	19	2.7%
その他の法人	645	44	6.4%	738	45	6.5%	800	46	6.5%
外国法人等	642	216	30.6%	698	200	28.3%	672	199	28.3%
個人・その他	56,967	88	12.5%	75,205	99	14.0%	94,070	111	15.7%
自己株式	1	5	0.7%	1	5	0.7%	1	5	0.7%
合計	58,492	707	100.0%	76,901	707	100.0%	95,819	707	100.0%

12.連結貸借対照表

<資産の部>

(単位：億円)

	2009.3.31		2009.9.30		増減	増減内容
		構成比		構成比		
流動資産	7,835	52.4%	7,715	52.8%	-120	
現金及び預金	766		987		221	手元流動性（現預金＋有価証券＋投資有価証券他）
受取手形及び売掛金	1,955		2,169		214	合計 3,412億円<対09年3月期末-230億円>
有価証券	2,355		2,093		-261	【内容】・当期利益 +187億円 ・配当金支払 -281億円 ・ランバクシー社 -167億円
たな卸資産	1,395		1,435		41	たな卸資産1,435億円の内訳 【内訳】商品及び製品 913億円 仕掛品 180億円 原材料及び貯蔵品 343億円
繰延税金資産	767		621		-147	・当期の利益に対する税金相当分 ・過年度税金修正分 ・固定資産からの振替 +90億円 繰延税金資産から取崩し-231億円
その他	608		420		-187	法人税（前期納付）の還付
貸倒引当金	-10		-11		-1	
固定資産	7,111	47.6%	6,889	47.2%	-222	
有形固定資産	2,501	16.7%	2,508	17.2%	7	
建物及び構築物	1,327		1,297		-30	
機械装置及び運搬具	460		469		9	
土地	424		429		5	
建設仮勘定	133		163		30	
その他	157		150		-6	
無形固定資産	1,926	12.9%	1,852	12.7%	-74	
のれん	774		741		-33	U3ファーマ社償却 -25億円 ランバクシー社償却 -12億円
その他	1,152		1,111		-41	
投資その他の資産	2,684	18.0%	2,529	17.3%	-156	
投資有価証券	1,537		1,517		-20	
長期貸付金	6		5		-1	
前払年金費用	69		54		-15	
繰延税金資産	916		793		-123	流動資産へ振替 -90億円
その他	159		163		4	
貸倒引当金	-3		-3		0	
資産合計	14,946	100.0%	14,603	100.0%	-343	

<負債及び純資産の部>

(単位：億円)

	2009.3.31		2009.9.30		増減	増減内容
		構成比		構成比		
負債合計	6,060	40.5%	5,801	39.7%	-259	
流動負債	5,085	34.0%	3,701	25.3%	-1,384	
支払手形及び買掛金	594		578		-16	
短期借入金	2,643		1,426		-1,218	社債発行による固定負債への振替
未払法人税等	82		41		-42	
返品調整引当金	6		9		3	
売上割戻引当金	27		22		-5	
その他	1,733		1,626		-107	
固定負債	974	6.5%	2,100	14.4%	1,126	
社債	-		1,000		1,000	第1回 5年債 600億円 (利率1.078%)
転換社債型新株予約権付社債	471		504		33	第2回 10年債 400億円 (利率1.776%)
長期借入金	159		255		96	
繰延税金負債	54		56		2	
退職給付引当金	106		116		10	
役員退職慰労引当金	2		2		0	
環境対策引当金	1		0		-1	
その他	182		167		-15	
純資産	8,886	59.5%	8,802	60.3%	-84	
株主資本	8,945	59.8%	8,850	60.6%	-95	
資本金	500		500		0	
資本剰余金	1,052		1,052		0	
利益剰余金	7,538		7,444		-95	配当金支払 -281億円 (期末配当 40円) 当期純利益 +187億円
自己株式	-146		-146		0	
評価・換算差額等	-314	-2.1%	-306	-2.1%	8	
その他有価証券評価差額金	199		272		73	
繰延ヘッジ損益	1		8		7	
為替換算調整勘定	-514		-586		-72	
新株予約権	24	0.2%	31	0.2%	7	
少数株主持分	232	1.6%	227	1.6%	-4	
負債純資産合計	14,946	100.0%	14,603	100.0%	-343	

13.連結損益計算書

(単位：億円)

	2008年度第2四半期		2009年度第2四半期		増減	増減内容
	累計	構成比 (%)	累計	構成比 (%)		
売上高	4,063	100.0%	4,706	100.0%	642	----- ランバクシー社連結化に伴う増加 +661億円 前年度エイゾール共同販促終了に伴う一時金収入を計上 -47億円
売上原価	976	24.0%	1,372	29.2%	396	----- 原価率 +5.2P ランバクシー社連結化による影響 +4.5P
売上総利益	3,087	76.0%	3,333	70.8%	246	
販売費及び一般管理費	2,471	60.8%	2,825	60.0%	354	----- ランバクシー社連結化に伴う増加 +310億円
広告宣伝費及び販売促進費	531		522		-9	
給料・賞与及び手当	451		570		119	
退職給付費用	37		56		19	
研究開発費	823		941		118	----- ランバクシー社連結化に伴う増加 +44億円 抗凝固剤エドキサパンの開発費用の増加等 +74億円
その他	628		735		107	
営業利益	616	15.2%	509	10.8%	-108	
営業外収益	61	1.5%	148	3.1%	87	
受取利息	32		26		-5	
受取配当金	19		13		-6	
デリバティブ評価益	-		87		87	----- ランバクシー社ドル/ルピー通貨の為替デリバティブによる評価益 \$/INR 48.5 (12月末) ⇒ \$/INR 47.9 (6月末)
その他	11		22		11	
営業外費用	81	2.0%	134	2.8%	53	
支払利息	0		31		31	
為替差損	31		80		49	----- ランバクシー社為替デリバティブ決済期限の到来による損失の確定等
持分法による投資損失	1		1		0	
デリバティブ評価損	23		-		-23	
その他	25		22		-3	
経常利益	596	14.7%	523	11.1%	-74	
特別利益	8	0.2%	24	0.5%	15	
固定資産売却益	8		5		-3	
投資有価証券売却益	0		18		18	
貸倒引当金戻入額	0		-		0	
特別損失	39	1.0%	10	0.2%	-29	
固定資産処分損	17		5		-12	
環境対策費	-		5		5	
減損損失	16		-		-16	
投資有価証券評価損	3		-		-3	
環境対策引当金繰入額	2		-		-2	
関係会社株式売却損	0		-		0	
税金等調整前当期純利益	566	13.9%	537	11.4%	-29	
法人税、住民税及び事業税等	226	5.6%	367	7.8%	141	----- 法人税率 40.0%→68.5% (のれん償却等を含むランバクシー社関連要因を除外後：48.9%)
少数株主損失	-	-	-18	-0.4%	-18	
四半期純利益	340	8.4%	187	4.0%	-153	

14.連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	2008年度 第2四半期	2009年度 第2四半期	増減	増減内容
税金等調整前四半期純利益	566	537	-29	
減価償却費	193	220	27	
のれん償却費	29	44	15	
デリバティブ評価損益	23	-87	-110	
売上債権の増減額	-139	-207	-67	
たな卸資産の増減額	-20	-35	-15	
仕入債務の増減額	-11	-21	-10	
未払金及び未払費用の増減額	-113	-74	39	
その他	-23	159	181	法人税（前期納付）の還付
法人税等の支払額	-317	-140	177	
営業活動によるキャッシュ・フロー	188	396	208	
短期運用資産の増減額	394	684	290	
固定資産の取得・売却等	-275	-130	145	
投資有価証券の増減額	-1,884	2	1,887	2008年度 ランバクシー社株式公開買付資金返払に伴う支出等
子会社株式の取得による支出	-243	-15	228	2008年度 U3ファーマ社株式取得
その他	27	8	-19	
投資活動によるキャッシュ・フロー	-1,980	549	2,530	
借入金の増減額	-1	-1,134	-1,134	社債発行による資金調達に伴う借入金の減少
社債の発行による収入	-	997	997	5年債、10年債の発行（社債発行費用を控除）
自己株式の取得による支出	-458	-0	458	
配当金の支払額	-252	-281	-30	1株当たり5円増配
その他	-0	-1	-1	
財務活動によるキャッシュ・フロー	-710	-420	290	
現金及び現金同等物に係る換算差額	-19	-26	-7	
現金及び現金同等物の増減額	-2,522	498	3,021	
現金及び現金同等物の期首残高	4,443	1,778	-2,666	
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,921	2,276	355	

MEMO



第一三共株式会社

15.主要開発パイプラインの状況

第一三共グループ主要開発パイプライン (ステージ別)

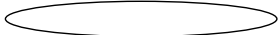


領域	主な既存品	Phase1	Phase2
循環器	Mevalotin Benicar/Olmetec Azor/Sevikar Welchol Effient/Efient オルメテック カルプロック アーチスト メパロチン クレメジン ハンパ リパロ サンリズム ペプリコール	DB-772d(米/欧) (経口抗Xa剤)	☆CS-866CMB(日) (オルメサルタンとヒトロクロチアジドの配合剤) DU-176b(米/欧) (エドキサパン/静脈血栓塞栓/経口抗Xa剤) CS-747(日) (プラスグレレル/抗血小板剤)
糖代謝	Welchol ファステック	CS-1036(日/亜) (糖吸収阻害剤)	
感染症	Levaquin/Tavanic Banan クラビット	CS-8958(米/欧) (Laninamivir/抗インフルエンザ/ビオタと共同開発)	
癌	トボテシン クレスチン	U3-1287(米) (抗HER3抗体) CS-1008(日) (Tigatuzumab/抗DR5抗体)	CS-1008(米/欧) (Tigatuzumab/抗DR5抗体) CS-7017(米) (PPAR γ 活性化剤) DE-766(日) (ニモツズマブ/抗EGFR抗体) ARQ 197(米/欧) (c-Met 阻害剤)
免疫・アレルギー	ジルテック	CS-0777(米/欧) (免疫抑制剤)	SUN13834(米) (キマーゼ阻害剤)
骨・関節	ロキソニン モービック		
その他	Venofer Evoxac オムニパーク オムニスキャン ビシパーク ソナゾイド フェロン ユリーフ		SUN11031(米/欧) (ヒトグレリン/カヘキシア) ☆DD-723-B(日) (ペルフルブタン/超音波造影剤)

☆効能追加、剤形追加等

2009年7月(2009年度第1四半期決算発表)以降の主な変更

□新規追加(アンダーライン) : CS-1008(欧/P2)

□ステージの変更 : DL-8234(日/承認)、CS-8635(米/申請)、レボフロキサシン注(日/申請)

Phase3	承認申請中
<p>☆CS-747(米/欧) (プラスグレール/ACS-MM/抗血小板剤)</p> <p>DU-176b(米/欧/日/亜) (エドキサバン/心房細動/経口抗Xa剤)</p> <p>DU-176b(日) (エドキサバン/静脈血栓塞栓/経口抗Xa剤)</p> <p>☆CS-8635(欧) (オルメサルタン、アムロジピン、ヒドロクロチアジドの配合剤)</p> 	<p>☆CS-866AZ(日) (オルメサルタンとアゼルニジピン[®]の配合剤)</p> <p>☆CS-8635(米) (オルメサルタン、アムロジピン、ヒドロクロチアジドの配合剤)</p>
 <p>CS-8958(日) (Laninamivir/抗インフルエンザ)</p>	<p>☆レボフロキサシン注(日) (ニューキノロン剤)</p>
<p>AMG 162(日) (デノスマブ / 癌骨転移、骨粗鬆症/抗RANKL抗体)</p>	<p>☆CS-600G(日) (ロキソプロフェン/ゲル製剤)</p>
<p>SUN11031(日) (ヒトグレリン/神経性食欲不振症)</p> <p>SUN Y7017(日) (メマンチン/ 軽度・中等度および高度アルツハイマー型認知症)</p>	<p>☆DL-8234(日) (フェロン効追/C型慢性肝炎/リバビリン併用療法)</p> <p>KMD-3213(中国) (シロドシン/排尿障害改善剤)</p> 

循環器

【原則P2以降の開発品を掲載しています】

開発番号	一般名(有効成分)	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
CS-747	プラスグレル	経口	抗血小板剤	急性冠症候群	第一三共 宇都興産	米欧 日	P3 P2

【備考】
 ・血小板表面でP2Y₁₂アデノシン三リン酸(ADP: adenosine diphosphate)受容体を遮断し、血小板の活性化および凝集を抑制する。
 ・米国、欧州はイーライリリーとの共同開発。日本は自社開発。
 ・2008年6月より、新たに血管再建術を予定していない急性冠症候群患者を対象として、薬剤治療試験のP3を実施中(ACS-MM)。
 ・血管再建術を実施した急性冠症候群(ACS-PCI)の治療薬として、2009年2月に欧州、2009年7月に米国で承認取得。日本ではP2試験実施中。
 ・英国:2009年3月発売(ACS-PCI)。
 ・米国:2009年8月発売(ACS-PCI)。

開発番号	一般名(有効成分)	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
DU-176b	エドキサバン	経口	抗Xa剤	①心房細動に伴う心房性脳梗塞の予防 ②静脈血栓塞栓症	第一三共	米欧 日	①P3、②P2 ①P3、②P3

【備考】
 ・血液が凝固する過程で重要な役割を果たす血液凝固第Xa因子を阻害する。
 ・ヒトにおける高い経口吸収性が認められた1日1回投与が可能な経口抗Xa剤である。
 ・前臨床試験および臨床試験において、肝機能異常を引き起こす可能性が低いことを確認している。
 ・米国、欧州、日本とも自社開発。
 ・股関節置換術(THR/欧米)、膝関節置換術(TKR/日本)を対象とした後期第2相臨床試験において、血栓塞栓症を用量依存的に抑制することが確認され、血栓塞栓症の抑制効果が高い用量においても、出血の発現率の増加は見られなかった。この結果をうけ、2009年3月に日本において術後血栓塞栓症予防の第3相臨床試験を開始。
 ・米国、欧州、日本において実施していた心房細動を対象とした後期第2相臨床試験は終了し、エドキサバンの30mg、60mg1日1回投与群における臨床的に重要な出血事象の頻度は、対照薬のワルファリン投与群と同程度であった(08年12月開催のASH、09年3月開催のACC、09年7月開催のISTHにおいて発表)。2008年11月に第3相国際共同試験を開始。
 ・2009年4Qに深部静脈血栓・肺塞栓症患者(DVT・PE)の血栓塞栓症予防の第3相国際共同試験を開始予定。

開発番号	一般名(有効成分)	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
CS-866AZ	オルメサルタン アゼルニジピン	経口	アンジオテンシンⅡ受容体拮抗剤 カルシウム拮抗剤	高血圧症	第一三共	日	申請中

【備考】
 ・オルメサルタン(アンジオテンシンⅡ受容体拮抗剤)とアゼルニジピン(カルシウム拮抗剤)の配合剤。
 ・オルメサルタンライフサイクルマネジメントの一環。
 ・承認申請:2008年12月

開発番号	一般名(有効成分)	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
CS-866CMB	オルメサルタン ヒドロクロロチアジド	経口	アンジオテンシンⅡ受容体拮抗剤 利尿剤	高血圧症	第一三共	日	P2

【備考】
 ・オルメサルタン(アンジオテンシンⅡ受容体拮抗剤)とヒドロクロロチアジド(利尿剤)の配合剤。
 ・オルメサルタンライフサイクルマネジメントの一環。

開発番号	一般名(有効成分)	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
CS-8635	オルメサルタン アムロジピン ヒドロクロロチアジド	経口	アンジオテンシンⅡ受容体拮抗剤 カルシウム拮抗剤 利尿剤	高血圧症	第一三共	米欧 日	申請中 P3

【備考】
 ・オルメサルタン(アンジオテンシンⅡ受容体拮抗剤)、アムロジピン(カルシウム拮抗剤)および利尿剤の配合剤。
 ・オルメサルタンライフサイクルマネジメントの一環。
 ・米国での承認申請:2009年9月

感染症

開発番号	一般名(有効成分)	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
CS-8958	Laninamivir	吸入	ノイラミダーゼ阻害剤	インフルエンザ	第一三共	米欧 日	P1 P3

【備考】
 ・長時間作用型のノイラミダーゼ阻害剤であり、1回の投与のみで治療効果および過1回の投与での予防効果が期待できる。
 ・米国、欧州でピオタ社と共同開発。日本では自社開発。
 ・インフルエンザウイルスの感染部位である肺、気管に直接作用する吸入剤として開発中。
 ・日本での治療に対する承認申請予定:2009年度内
 ・日本において予防に対する第3相臨床試験を2009年4Qから開始予定。

開発番号	一般名(有効成分)	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
レボフロキサシ注	レボフロキサシ	注	ニューキノロン剤	細菌感染症	第一三共	日	申請中

【備考】
 ・DNAジャイレース活性およびトポイソメラーゼⅣ活性の阻害により細菌のDNA合成を阻害する。
 ・レボフロキサシンの注射剤であり、剤形追加。
 ・承認申請:2009年10月

癌

開発番号	一般名(有効成分)	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
ARQ 197	-	経口剤	c-Met阻害剤	-	ArQule	米 欧	P2 P2
<p>【備考】</p> <ul style="list-style-type: none"> c-Metは、肝細胞増殖因子HGFの受容体で細胞運動、細胞増殖、アポトーシス誘導、血管新生、浸潤など様々な細胞内シグナル伝達に関与。 c-Metの変異は、胃癌、小児肝細胞癌、頭頸部癌で、発現亢進は大腸癌、肝細胞癌、膵臓癌、前立腺癌、乳癌等で認められる。 複数の癌種をターゲットとした臨床試験を実施中。 							
開発番号	一般名(有効成分)	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
CS-1008	Tigatuzumab	注射	抗DR5抗体	-	第一三共	米 欧 日	P2 P1
<p>【備考】</p> <ul style="list-style-type: none"> ヒトDeath Receptor 5(DR5)に対するアゴニスティックなマウスモノクローナル抗体であるTRA-8のヒト化抗体。 DR5は、ほとんどの正常細胞では発現していないことから腫瘍細胞選択的に作用することが期待される。 細胞表面にDR5を発現した癌細胞に対してアポトーシスを誘導する。 複数の癌種をターゲットとした臨床試験を実施中。 							
開発番号	一般名(有効成分)	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
DE-766	ニモズマブ	注射	抗EGFR抗体	-	CIMYM バイオサイエンス	日	P2
<p>【備考】</p> <ul style="list-style-type: none"> Epidermal Growth Factor Receptor(EGFR、上皮細胞成長因子受容体)に対するヒトモノクローナル抗体。 皮膚毒性に関する安全性と他のEGFR抗体に匹敵する有効性から、ベストインクラスのEGFR抗体として期待される。 複数の癌種をターゲットとした臨床試験を実施中。 							
開発番号	一般名(有効成分)	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
CS-7017	-	経口	PPAR γ 活性化剤	-	第一三共	米	P2
<p>【備考】</p> <ul style="list-style-type: none"> In vitroにおいて、癌細胞を殺さずその増殖を抑制。従来の化学療法と比べ、安全性の懸念が低いことが期待される。 複数の癌種をターゲットとした臨床試験を実施中。 							

免疫・アレルギー

開発番号	一般名(有効成分)	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
SUN13834	-	経口	キマーゼ阻害剤	アトピー性皮膚炎	アスピオファーマ	米	P2
<p>【備考】</p> <ul style="list-style-type: none"> 肥満細胞から放出されるアレルギー反応に関与する内因性蛋白分解酵素であるキマーゼを阻害する。 アスピオファーマが米国にて開発中。 新規メカニズムの経口アトピー性皮膚炎治療薬になると期待される。 							

骨・関節

開発番号	一般名(有効成分)	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
AMG 162	デノスマブ	注射	抗RANKL抗体	骨粗鬆症 がん骨転移	アムジェン	日	P3
<p>【備考】</p> <ul style="list-style-type: none"> 骨吸収の鍵となるメディエーターであるRANKリガンドを特異的にターゲットとする完全ヒト型モノクローナル抗体。 2007年7月アムジェンより導入。 骨粗鬆症に対して、第3相臨床試験の実施中。 癌の骨転移に対して、第3相国際共同治験を実施中。 							
開発番号	一般名(有効成分)	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
CS-600G	ロキソプロフェン	ゲル	消炎鎮痛剤	変形性関節症 筋肉痛 外傷後の腫脹疼痛	第一三共	日	申請中
<p>【備考】</p> <ul style="list-style-type: none"> 作用機序：プロスタグランジン合成抑制作用。作用点：シクロオキシゲナーゼ。 自社開発。 ロキソプロフェンナトリウム水和物含有経皮吸収型軟膏剤(ゲル製剤) ロキソニン(ロキソプロフェン ナトリウム水和物)の剤型追加。 							

その他

開発番号	一般名(有効成分)	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
SUN Y7017	マンチン塩酸塩	経口	NMDA受容体拮抗剤	アルツハイマー型認知症	メルツ	日	P3(高度) P3(軽・中等度)
<p>[備考]</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存のアセチルコリンエステラーゼ阻害剤とは異なり、グルタミン酸受容体の1つであるNMDA受容体への拮抗作用を有するアルツハイマー型認知症治療剤である。 神経細胞保護作用による認知症症状の進行抑制が期待される。 アスピオファーマが開発。 							
開発番号	一般名(有効成分)	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
KMD-3213	シロドン	経口	α 1A受容体選択的拮抗剤	前立腺肥大に伴う排尿障害改善	キッセイ薬品	中国	申請中
<p>[備考]</p> <ul style="list-style-type: none"> 前立腺のα1A受容体をブロックし尿道の緊張を弛緩させ、尿道抵抗を改善する。既存薬に比べα1A受容体に対する選択性が高いため、循環器系への副作用が少なく、また自覚症状の早期改善が期待される。 日本では、ユリーフの販売名で第一三共、キッセイ薬品が販売。 承認申請:2008年12月。 							
開発番号	一般名(有効成分)	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
SUN 11031	ヒグレリン	注射	-	カヘキシア 神経性食欲不振症	アスピオファーマ	米欧 日	P2 P3
<p>[備考]</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在までに発見されている摂食行動に関係するホルモンの中で、グレリンは唯一の末梢性の内因性摂食亢進因子であり、あわせて強力な成長ホルモン分泌促進作用を有する。 米国、欧州、日本ともアスピオファーマが開発。 米国、欧州では、カヘキシアを対象に、日本では、神経性食欲不振症を対象に第2相臨床試験を実施中。 							
開発番号	一般名(有効成分)	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
DL-8234	インターフェロン- β	注射	インターフェロン- β 製剤	C型慢性肝炎(リハビリンとの併用療法)	東レ	日	承認
<p>[備考]</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本において商品名フエロンで販売。 2007年9月に効能追加[C型慢性肝炎(リハビリンとの併用療法)]申請。 東レとの共同開発。 α型に比較して抑うつ等の中枢性副作用、脱毛の発現が少ない天然型のインターフェロン-β製剤。 2009年10月16日に承認取得。 							
開発番号	一般名(有効成分)	剤形	薬効	目標適応	オリジン	開発地域	ステージ
DD-723-B	ペルフルプタン	注射	超音波造影剤	前立腺病変の造影 乳腺病変の造影	GEHC	日	P2
<p>[備考]</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本において商品名ソナゾイドで販売。 							

1. 損益計算書

(単位: 億円)

	2008年度					2009年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計	第3四半期	年度
売上高	<-13.5> 100.0	<-2.7> 2,037	<-12.2> 100.0	<16.4> 2,026	<-4.3> 100.0	<11.5> 2,271	<20.2> 100.0	<15.8> 2,434	<11.5> 100.0	<15.8> 4,706
売上原価	23.9	486	24.2	490	24.0	531	29.7	636	25.5	2,144
販管費	56.5	1,151	65.1	1,320	59.5	1,317	74.6	1,601	64.0	5,389
再掲) 研究開発費	18.1	369	22.4	454	21.2	468	25.8	554	21.9	1,845
再掲) 研究開発費以外の販管費	38.4	782	42.7	866	38.4	849	48.8	1,047	42.1	3,543
営業利益	<-41.0> 196	<-17.1> 400	<-42.0> 10.7	<-> 216	<-43.3> 16.5	<-> 364	<-67.4> -	<-43.3> -92	<-33.1> 10.6	<-17.5> 889
営業外収益		36		25		30		31		123
営業外費用		28		53		59		319		460
経常利益	<-43.0> 20.1	<-35.3> 409	<-48.7> 9.3	<-> 188	<-67.4> 15.2	<-> 335	<-67.4> -	<-67.4> -380	<-82.5> 6.6	<-12.4> 552
特別利益		0		8		18		11		38
特別損失		13		26		3,574		59		3,672
税引前利益	19.4	395	8.4	170	-	-3,220	-	-428	-	-3,083
当期純利益	<-39.4> 12.3	<-52.8> 251	<-> 4.4	<-> 89	<-> -	<-> -3,318	<-> 38.4	<-> 823	<-> -	<-45.0> -2,155

2. 為替レート

	2008年度				2009年度	
	第1四半期	第2四半期累計	第3四半期累計	年度	第1四半期	第2四半期累計
USD/円 (期中平均)	104.6	106.1	102.8	100.5	97.3	95.5
EUR/円 (期中平均)	163.4	162.7	150.7	143.5	132.6	133.2
INR/円 (期中平均)	-	-	-	2.00	1.89	1.95

3. グローバル製品売上高

(単位: 億円)

	2008年度					2009年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計	第3四半期	年度
オルメサルタン 【高血圧症治療剤】	<-4.5> 507	<23.7> 539	<6.6> 576	<9.1> 490	<8.0> 2,111	<10.5> 560	<10.2> 594	<10.3> 1,154	<10.5> 560	<10.2> 594
オルメテック (日本)	<12.8> 156	<24.9> 157	<6.0> 187	<28.7> 144	<16.6> 644	<22.1> 190	<26.1> 198	<24.1> 388	<22.1> 190	<26.1> 198
ヘニカーHCT/ ヘニカー (米国)	<2.6> 234	<1.8> 221	<-7.5> 223	<1.6> 196	<-0.6> 874	<-5.6> 221	<0.5> 222	<-2.6> 443	<-5.6> 221	<0.5> 222
エイソール (米国)	<-> 14	<-> 24	<39.6> 26	<241.8> 23	<240.7> 87	<121.5> 30	<30.9> 32	<63.7> 62	<121.5> 30	<30.9> 32
オルメテックプラス/ オルメテック (欧州) *	<-44.3> 83	<40.7> 103	<10.1> 91	<-13.6> 97	<-10.3> 375	<-0.2> 83	<-3.7> 100	<-2.2> 182	<-0.2> 83	<-3.7> 100
セピカー (欧州)	-	-	14	8	22	<-> 9	<-> 12	<-> 21	<-> 9	<-> 12
その他子会社/輸出等	<30.4> 20	<72.2> 33	<62.0> 35	<-12.5> 22	<35.6> 110	<29.9> 26	<-7.8> 31	<6.4> 57	<29.9> 26	<-7.8> 31
レボフロキサシン 【合成抗菌剤】	<-12.6> 258	<0.5> 236	<-19.8> 258	<-4.6> 226	<-10.2> 977	<-23.2> 198	<-0.3> 235	<-12.3> 433	<-23.2> 198	<-0.3> 235
クラビット (日本)	<-15.5> 102	<-6.0> 94	<-11.5> 137	<-1.2> 97	<-9.2> 430	<-6.8> 95	<26.7> 119	<9.3> 214	<-6.8> 95	<26.7> 119
輸出等	<-11.3> 96	<19.4> 83	<-36.8> 62	<7.6> 71	<-8.7> 311	<-49.6> 48	<-22.7> 64	<-37.2> 112	<-49.6> 48	<-22.7> 64
特許料	<-12.6> 41	<-13.8> 40	<-15.9> 41	<-26.6> 40	<-17.6> 161	<-9.9> 37	<-19.3> 32	<-14.6> 69	<-9.9> 37	<-19.3> 32
その他子会社	<-1.8> 19	<0.9> 19	<-11.9> 18	<-2.6> 18	<-4.0> 75	<-6.4> 18	<2.9> 20	<-1.7> 38	<-6.4> 18	<2.9> 20
プラバスタチン 【高コレステロール血症治療剤】	<-25.8> 161	<-14.9> 159	<-23.3> 166	<-15.3> 123	<-20.5> 608	<-8.5> 147	<-5.2> 150	<-6.9> 297	<-8.5> 147	<-5.2> 150
メバロチン (日本)	<-17.1> 135	<-14.8> 131	<-22.6> 141	<-14.3> 100	<-17.6> 507	<-8.3> 124	<-5.0> 124	<-6.7> 249	<-8.3> 124	<-5.0> 124
輸出	<-39.0> 10	<-33.6> 8	<-54.0> 6	<-3.5> 7	<-36.6> 32	<-37.6> 7	<23.3> 10	<-11.8> 16	<-37.6> 7	<23.3> 10
欧州子会社*	<-74.3> 7	<-3.4> 12	<1.2> 12	<-43.9> 7	<-40.7> 40	<11.3> 8	<-34.0> 8	<-17.3> 16	<11.3> 8	<-34.0> 8
その他子会社	<-3.1> 8	<-7.6> 8	<-25.4> 6	<7.1> 9	<-7.2> 30	<7.7> 8	<8.4> 8	<8.1> 16	<7.7> 8	<8.4> 8

* 2007年度は、第一三共ヨーロッパGmbHの決算期を変更(12月期→3月期決算)したため、15ヶ月決算(2007年1月-2008年3月)となっております。
2007年1月-3月の実績は、オルメテック/オルメテックプラス64億円(€40mil)、プラバスタチン16億円(€10mil)であります。

プラスレル (共同販促収入) 【抗血小板剤】	<->	<->	<->	<->	<->	<->	<->	<->	<->	<->
エフィエント (米国)	-	-	-	-	-	-	10	10	-	10
エフィエント (欧州)	-	-	-	<->	<->	0.3	0	0	0.3	0

プラスレルの共同販促収入は米国分をDSIIに、欧州分を第一三共単体にそれぞれ計上しております。

4. 海外売上高

(単位: 億円)

	2008年度					2009年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計
海外売上高	<15.9> 887	<3.6> 861	<9.9> 838	<47.5> 1,147	<4.1> 3,733	<23.9> 1,098	<42.6> 1,227	<33.1> 2,326
対売上高比率	43.5%	42.5%	37.9%	53.5%	44.3%	48.4%	50.4%	49.4%
北米	<3.9> 583	<2.7> 536	<15.1> 528	<21.7> 566	<0.6> 2,213	<1.1> 589	<16.6> 625	<8.5> 1,214
欧州*	<42.6> 224	<31.8> 233	<12.9> 219	<37.0> 305	<0.3> 982	<21.3> 272	<27.6> 297	<24.5> 569
その他	<22.3> 80	<10.9> 92	<15.4> 91	<206.7> 276	<33.6> 538	<197.4> 237	<232.9> 305	<216.4> 542

* 2007年度は、第一三共ヨーロッパGmbHの決算期を変更(12月期→3月期決算)したため、15ヶ月決算(2007年1月-2008年3月)となっております。
2007年1月-3月の実績は、売上高141億円であります。

5. セグメント別情報(事業別)

(単位: 億円)

	2008年度					2009年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計
連結売上高	<13.5> 2,037	<2.7> 2,026	<12.2> 2,213	<16.4> 2,145	<4.3> 8,421	<11.5> 2,271	<20.2> 2,434	<15.8> 4,706
医薬品事業	<10.2> 2,029	<1.7> 2,016	<8.6> 2,205	<21.7> 2,137	<0.2> 8,387	<11.5> 2,263	<20.3> 2,425	<15.9> 4,688
国内医療用医薬品	<8.2> 1,033	<0.4> 1,016	<9.3> 1,232	<1.8> 886	<4.7> 4,167	<3.1> 1,066	<5.0> 1,067	<4.0> 2,132
海外医療用医薬品*	<14.1> 887	<5.3> 858	<6.1> 840	<46.7> 1,149	<5.9> 3,733	<23.9> 1,099	<42.5> 1,222	<33.0> 2,321
ヘルスケア	<3.1> 102	<5.2> 138	<13.2> 132	<6.5> 101	<6.2> 472	<6.9> 95	<2.1> 135	<4.1> 230
その他事業	<91.5> 8	<90.0> 10	<93.0> 8	<90.7> 8	<91.3> 34	<2.6> 8	<3.5> 10	<3.1> 18
連結営業利益	<41.0> 400	<17.1> 216	<42.0> 364	<-> -92	<43.3> 889	<33.1> 268	<11.5> 241	<17.5> 509
医薬品事業	<42.3> 394	<18.9> 209	<42.5> 359	<-> -97	<44.3> 866	<33.5> 262	<11.9> 234	<17.8> 496
その他事業	<-> 5	<-> 7	<45.8> 5	<53.9> 5	<116.2> 22	<-1.3> 5	<-0.6> 7	<-0.9> 12

* 2007年度は、第一三共ヨーロッパGmbHの決算期を変更(12月期→3月期決算)したため、15ヶ月決算(2007年1月-2008年3月)となっております。
2007年1月-3月の実績は、売上高141億円、営業利益18億円であります。

6. セグメント別情報(所在地別)

(単位: 億円)

	2008年度					2009年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計
連結売上高	<13.5> 2,037	<2.7> 2,026	<12.2> 2,213	<16.4> 2,145	<4.3> 8,421	<11.5> 2,271	<20.2> 2,434	<15.8> 4,706
日本	<12.6> 1,327	<7.3> 1,330	<15.8> 1,514	<8.4> 1,127	<11.4> 5,298	<3.1> 1,285	<1.8> 1,354	<-0.7> 2,639
北米	<12.5> 507	<1.4> 453	<10.0> 460	<31.7> 489	<7.2> 1,908	<7.0> 542	<20.4> 545	<13.3> 1,087
欧州*	<53.1> 152	<41.9> 185	<24.8> 180	<41.8> 258	<-0.7> 774	<48.1> 225	<32.4> 245	<39.5> 469
インド	-	-	-	<-> 153	153	<-> 115	<-> 165	<-> 280
その他	<16.9> 52	<16.3> 58	<13.9> 59	<101.4> 119	<10.9> 289	<99.7> 105	<115.3> 126	<108.0> 230
連結営業利益	<41.0> 400	<17.1> 216	<42.0> 364	<-> -92	<43.3> 889	<33.1> 268	<11.5> 241	<17.5> 509
日本	185	82	255	-88	434	156	119	274
北米	169	109	116	109	503	139	130	270
欧州*	12	0	5	40	58	12	19	31
インド	-	-	-	-189	-189	-32	-17	-49
その他	7	4	-35	27	4	9	5	14

* 2007年度は、第一三共ヨーロッパGmbHの決算期を変更(12月期→3月期決算)したため、15ヶ月決算(2007年1月-2008年3月)となっております。
2007年1月-3月の実績は、売上高141億円、営業利益18億円であります。

7. 主要会社の状況

データのダウンロードは右記URLより www.daiichisankyo.co.jp/ir/highlight/index.html

7-1. 第一三共単体

(単位：億円)

	2008年度					2009年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計
国内医療用医薬品合計	<-8.8>	<-0.9>	<-8.9>	<2.3>	<-4.8>	<3.7>	<5.3>	<4.5>
	1,009	995	1,201	862	4,067	1,046	1,048	2,094
循環器関連疾患領域	<-5.9>	<-2.2>	<-8.8>	<-0.6>	<-4.8>	<3.8>	<8.2>	<6.0>
	600	572	655	499	2,325	623	619	1,242
オルメテック 【高血圧症治療剤】	<12.8>	<24.9>	<6.0>	<28.7>	<16.6>	<22.1>	<26.1>	<24.1>
	156	157	187	144	644	190	198	388
カルブロック 【高血圧症治療剤】	<19.4>	<26.9>	<13.6>	<17.2>	<18.9>	<14.5>	<18.9>	<16.7>
	30	29	34	28	121	35	35	70
アーチスト 【高血圧症治療剤】	<3.3>	<4.9>	<0.5>	<6.8>	<3.6>	<6.3>	<11.3>	<8.7>
	57	53	60	49	219	60	59	119
メパロチン 【高血圧症治療剤】	<-17.1>	<-14.8>	<-22.6>	<-14.3>	<-17.6>	<-8.3>	<-5.0>	<-6.7>
	135	131	141	100	507	124	124	249
クレメジン 【慢性腎不全剤】	<3.9>	<3.9>	<-0.5>	<5.3>	<2.9>	<5.5>	<8.8>	<7.2>
	32	32	35	28	128	34	35	69
ハンブ 【急性心不全剤】	<-7.8>	<-3.2>	<-5.2>	<-8.1>	<-6.2>	<1.5>	<11.3>	<5.8>
	24	18	28	22	92	24	21	45
リパロ 【高血圧症治療剤】	<10.0>	<13.8>	<8.1>	<16.6>	<11.8>	<22.8>	<25.9>	<24.3>
	15	15	18	14	61	18	18	37
サンリズム 【不整脈治療剤】	<-4.2>	<-2.9>	<-6.1>	<-0.3>	<-3.6>	<-1.2>	<3.4>	<1.0>
	31	29	32	25	116	30	30	60
ファスティック 【血糖降下剤】	<-0.5>	<-0.1>	<-2.9>	<-1.3>	<-1.2>	<1.8>	<7.3>	<4.5>
	13	13	14	11	51	14	14	27
感染症/骨・関節/免疫・アレルギー/泌尿器	<-8.3>	<4.2>	<-2.6>	<4.6>	<-1.0>	<9.4>	<16.4>	<13.0>
	308	319	447	300	1,374	337	372	709
クラビット 【合成抗菌剤】	<-15.5>	<-6.0>	<-11.5>	<-1.2>	<-9.2>	<-6.8>	<26.7>	<9.3>
	102	94	137	97	430	95	119	214
ロキソニン 【消炎鎮痛解熱剤】	<2.2>	<28.3>	<17.1>	<12.3>	<15.1>	<33.0>	<19.7>	<25.6>
	84	104	115	83	387	112	125	237
モービック 【消炎鎮痛剤】	<-13.1>	<-16.7>	<-23.1>	<-18.3>	<-17.8>	<-17.5>	<-8.9>	<-13.5>
	24	21	22	16	84	20	20	40
ユリーフ 【排尿障害改善剤】	<59.7>	<45.4>	<25.9>	<60.5>	<46.0>	<26.6>	<26.1>	<26.4>
	18	18	21	22	79	22	22	45
シルテック 【抗アレルギー剤】	<-23.8>	<-16.1>	<-15.6>	<-4.8>	<-14.1>	<18.4>	<13.3>	<16.2>
	20	16	22	35	93	24	18	42
造影剤/癌/消化器	<-22.2>	<-13.6>	<-19.0>	<-13.6>	<-17.5>	<2.9>	<1.7>	<2.3>
	123	125	139	101	488	126	127	253
オムニパーク 【造影剤】	<-11.3>	<-5.4>	<-13.2>	<-4.7>	<-9.1>	<-2.0>	<3.4>	<0.7>
	73	73	80	57	283	71	75	147
トボテシン注 【抗悪性腫瘍剤】	<0.7>	<2.1>	<-1.0>	<2.1>	<0.9>	<5.6>	<4.6>	<5.1>
	16	15	17	14	62	17	16	33

7-2. 第一三共ヘルスケア

(単位：億円)

	2008年度					2009年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計
ヘルスケア売上高合計	<3.1>	<-5.2>	<-13.2>	<-6.5>	<-6.2>	<-6.9>	<-2.1>	<-4.1>
	102	138	132	101	472	95	135	230
ルル類	<8.7>	<-2.0>	<-4.0>	<-6.9>	<-2.2>	<-2.4>	<18.9>	<13.5>
	12	36	35	14	98	12	43	55
ガスター10	<-15.5>	<7.8>	<-2.6>	<-12.6>	<-5.5>	<-29.1>	<-45.7>	<-38.3>
	7	9	10	7	33	5	5	10
新三共胃腸薬類	<7.9>	<31.2>	<-26.4>	<-12.1>	<-5.2>	<26.3>	<-1.1>	<10.7>
	7	9	10	7	33	9	9	18
パテックス類	<-19.5>	<-9.0>	<0.0>	<-9.3>	<-10.4>	<15.3>	<-17.8>	<-1.3>
	8	8	7	4	27	9	6	16
トランシーノ	<->	<-62.0>	<-76.9>	<-69.6>	<-41.4>	<-62.3>	<-72.0>	<-66.6>
	7	5	2	1	15	3	2	4

7-3. 第一三共Inc. (米国)

(単位：億円)

	2008年度					2009年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計
第一三共Inc. (DSI)	<12.0>	<0.6>	<-13.5>	<15.3>	<1.9>	<-11.2>	<5.6>	<-3.4>
mil USD	372	317	326	279	1,293	330	335	665
	<29.4>	<8.4>	<2.1>	<27.9>	<15.8>	<-4.6>	<21.7>	<7.3>
mil USD	356	294	337	300	1,286	339	357	696
パニカー/パニカーHCT 【高血圧症治療剤】	<2.6>	<1.8>	<-7.5>	<1.6>	<-0.6>	<-5.6>	<0.5>	<-2.6>
mil USD	234	221	223	196	874	221	222	443
	<18.6>	<11.3>	<8.7>	<14.1>	<13.0>	<1.4>	<15.6>	<8.2>
mil USD	223	205	230	210	869	227	237	464
エイゾール 【高血圧症治療剤】	<->	<->	<39.6>	<241.8>	<240.7>	<121.5>	<30.9>	<63.7>
mil USD	14	24	26	23	87	30	32	62
	<->	<->	<66.2>	<285.1>	<287.2>	<138.0>	<49.3>	<81.9>
mil USD	13	23	27	24	86	31	34	65
ウェルコール 【高血圧症治療剤/2型糖尿病治療剤】	<11.0>	<8.8>	<6.6>	<4.3>	<7.8>	<7.0>	<6.6>	<6.8>
mil USD	64	61	66	53	245	69	65	134
	<28.2>	<18.9>	<24.7>	<17.8>	<22.5>	<14.9>	<22.8>	<18.7>
mil USD	62	57	68	57	244	71	69	140
エフィエント (共同販促収入) 【抗血小板剤】	-	-	-	-	-	-	<->	<->
mil USD	-	-	-	-	-	-	<->	10
	-	-	-	-	-	-	<->	<->
mil USD	-	-	-	-	-	-	10	10

7-4. ルイトボルド ファーマシューティカルズ Inc. (米国)

(単位：億円)

	2008年度					2009年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計
ルイトボルド (LPI)	<13.8>	<6.4>	<-0.5>	<-17.8>	<0.1>	<-1.1>	<-0.4>	<-0.7>
mil USD	135	135	134	107	511	134	135	269
	<31.4>	<16.5>	<16.9>	<-5.7>	<13.8>	<6.2>	<14.5>	<10.3>
mil USD	129	126	139	115	509	137	144	281
ヴェノファー 【貧血治療剤】	<23.1>	<6.4>	<1.7>	<-15.3>	<3.1>	<-3.9>	<-4.6>	<-4.3>
mil USD	83	85	83	69	320	80	81	161
	<42.2>	<16.7>	<19.5>	<-2.8>	<17.2>	<3.2>	<9.6>	<6.4>
mil USD	80	79	86	74	319	82	87	169

7-5. 第一三共ヨーロッパGmbH (欧州)

(単位：億円)

	2008年度					2009年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計
第一三共ヨーロッパGmbH (DSE)	<-53.1>	<42.4>	<24.2>	<2.4>	<-9.9>	<14.1>	<-0.4>	<6.1>
mil EUR	152	185	180	186	703	173	184	357
	<-54.2>	<42.5>	<53.8>	<27.9>	<0.8>	<40.6>	<20.8>	<29.7>
mil EUR	93	114	136	147	490	131	138	268
オルメテック/オルメテックプラス 【高血圧症治療剤】	<-44.3>	<40.7>	<10.1>	<-13.6>	<-10.3>	<-0.2>	<-3.7>	<-2.2>
mil EUR	83	103	91	97	375	83	100	182
	<-45.6>	<40.5>	<37.5>	<8.5>	<0.3>	<23.0>	<16.7>	<19.5>
mil EUR	51	64	70	77	261	63	74	137
セピカー 【高血圧症治療剤】	<->	<->	<->	<->	<->	<->	<->	<->
mil EUR	-	-	14	8	22	9	12	21
	<->	<->	<->	<->	<->	<->	<->	<->
mil EUR	-	-	9	6	15	7	9	16
メパロチン 【高血圧症治療剤】	<-74.3>	<-3.4>	<1.2>	<-43.9>	<-40.7>	<11.3>	<-34.0>	<-17.3>
mil EUR	7	12	12	7	40	8	8	16
	<-74.9>	<-3.6>	<23.3>	<-25.7>	<-33.7>	<37.2>	<-20.0>	<1.1>
mil EUR	4	8	9	6	28	6	6	12
エビスタ 【骨粗鬆症治療剤】	<71.7>	<419.7>	<134.5>	<57.8>	<128.5>	<-24.9>	<-27.5>	<-26.3>
mil EUR	32	35	30	22	120	24	26	50
	<67.7>	<421.3>	<195.4>	<111.8>	<155.6>	<-7.5>	<-12.2>	<-9.9>
mil EUR	20	22	23	18	84	18	19	37

* DSEの2007年度実績は、決算期を変更（12月期→3月期決算）したため、15ヶ月決算（2007年1月-2008年3月）となっております。
 なお、2007年1月-3月の実績はDSE全体で141億円（€89mil）、オルメテック/オルメテックプラス、メパロチン、エビスタの製品売上はそれぞれ、64億円（€40mil）、16億円（€10mil）、10億円（€6mil）であります。

【参考】エフィエント (欧州) 共同販促収入

エフィエント 【抗血小板剤】	-	-	-	<->	<->	<->	<->	<->
mil USD	-	-	-	<->	0.3	<->	<->	0
	-	-	-	<->	0.3	<->	<->	0
mil USD	-	-	-	<->	0.3	<->	<->	0

* 欧州のエフィエント共同販促収入は第一三共単体に計上されており、上記DSEの売上には含まれません。

7-6. アジア/中南米 (ASCA)

(単位: 億円)

	2008年度					2009年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計
ASCA合計	<10.5> 52	<12.7> 58	<14.3> 59	<1.6> 60	<9.5> 230	<0.5> 53	<7.1> 63	<4.0> 115
第一三共製薬(北京) (DSBJ)	<10.9> 10	<-0.8> 10	<11.4> 11	<-22.0> 9	<-1.3> 40	<-4.3> 10	<7.6> 11	<1.6> 20
第一三共製薬(上海) (DSSH)	<29.5> 7	<64.3> 9	<62.4> 11	<126.2> 11	<69.0> 38	<48.0> 11	<40.2> 13	<43.6> 24
韓国第一三共 (DSKR)	<4.3> 9	<1.1> 9	<-35.5> 6	<-19.7> 6	<-12.4> 30	<-15.6> 8	<-2.1> 9	<-8.8> 16
第一三共タイ (DSTH)	<-4.9> 2	<17.9> 2	<-3.3> 2	<-13.4> 2	<-1.4> 8	<-0.9> 2	<-0.4> 2	<-0.6> 4
台湾第一三共 (DSTW)	<1.6> 9	<1.2> 10	<-9.0> 8	<-15.5> 8	<-5.4> 35	<-8.6> 9	<-14.9> 8	<-11.8> 17
第一三共ブラジル (DSBR)	<11.5> 10	<14.9> 12	<38.7> 14	<-4.2> 14	<13.6> 50	<-25.5> 8	<-12.7> 10	<-18.6> 18
第一三共ベネズエラ (DSVE)	<21.7> 5	<12.0> 6	<40.5> 7	<9.8> 10	<19.0> 28	<35.3> 7	<45.0> 9	<40.6> 16

7-7. ランバクシー・ラボラトリーズ Ltd.

(単位: 億円)

	2008年度					2009年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計
ランバクシー	-	-	-	<-> 386	<-> 386	<-> 297	<-> 364	<-> 661
億インドルピー	-	-	-	<-> 193	<-> 193	<-> 157	<-> 182	<-> 339

7-8. ASCA各社およびランバクシーのグローバル製品売上高

(単位: 億円)

	2008年度					2009年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計
オルメサルタン 【高血圧症治療剤】	<69.3> 13	<110.1> 19	<98.0> 21	<38.4> 21	<74.2> 73	<42.4> 18	<25.7> 24	<32.4> 42
レボフロキサシ 【合成抗菌剤】	<-1.8> 19	<0.9> 19	<-11.9> 18	<-2.6> 18	<-4.0> 75	<-6.4> 18	<2.9> 20	<-1.7> 38
プラバスタチン 【高コレステロール血症治療剤】	<-3.1> 8	<-7.6> 8	<-25.4> 6	<7.1> 9	<-7.2> 30	<7.7> 8	<8.4> 8	<8.1> 16

つくっているのは、希望です。



Daiichi-Sankyo

第一三共株式会社